



想  
い  
—  
朴  
善  
化

Park Sunhwa Exhibition  
2018.2.6 tue. — 2.25 sun.  
Gallery PARC

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]は2018年2月6日[火]から25日[日]まで、朴善化による個展「想い」を開催いたします。

朴善化(ばく・そな)は、2000年に京都市立芸術大学美術研究科修士課程研究留学生として来日、2005年同美術研究科修士課程保存修復専攻修了、2009年同博士課程美術専攻(保存修復)領域修了、以後もおもに日本・韓国で仏教絵画の制作・保存修復に携わっています。

古来、大陸や朝鮮半島から日本にもたらされた仏教絵画は、おもに信仰の場において人々の祈りの対象として、あるいは仏教の教義や思想、世界観を表わすものとして制作されました。それらには制作された時代の貴重な素材・高い技術など先人の知恵が込められ、今日まで大切に受け継がれてきました。しかし人々の祈りの対象として永い時間信仰の場にあった仏教絵画は、紙や布に膠(ニカワ)を接着剤として天然の岩石などで描かれている物理的な特質から、常に傷みや破損・劣化にさらされてきました。それ故に仏教絵画は次の時代に伝え・残すため、保存・修復の技術も同時に発展してきたとも言えます。

朴は現在まで受け継がれてきた和紙や藍などの素材や材料、保存・修復の技術を熱心に研究する傍ら、生まれ育った国の文化財である韓国高麗時代から朝鮮時代に至る仏教絵画の模写にこだわって制作を続けています。朴は、描かれた線を手を持った筆で辿るなかで、その絵を描いた人の事を考え、その仏画を描いた場所や情景などを「想い」、それを共有しようとしている自分に気付くようになったと言います。また、それは自身を深く見つめるための「想い」の時間でもあるとも言います。

「絵」はそれが成されるにあって、紙や筆、絵具などの材料と描き手の眼と手のそれぞれが必要不可欠であるといえます。朴はまず自身が納得のいく絵を描くために、多くの仏教絵画を自身の眼と手で確かめ、紙・道具・画材の違いを知り、描き手の線を模写することで追体験し、その技術と想いを知り研究を深めています。また、その中で絵を描くこと、それを次の時代に伝え残すことには、描き手だけではなく多くの人たちの想いや取り組みが必要であることを知り、それらの想いを含めた継ぐこと・残すことへの探求を続けています。

今日の美術にあって「描く・残す」という行為が、『今という瞬間の私の想いや感性が消えてしまわないうちに、残し標す』ことに傾斜するなかで、『今を残すことが過去と未来を繋ぐ』ことに視点を据え、そこに「私」ができる範囲でひたむきに関わる朴の取り組みを見て・知ることができる本展では、「描くこと」「伝えること」が持つもうひとつの主体や本質を想うことができるのではないのでしょうか。



本展DM画像  
《竹林寺 世尊掛仏幀(朝鮮時代1622年)復元模写》  
2017年  
韓紙、膠、天然岩絵具、緑青、辰砂、24金、藍、臘脂綿など  
H98.2×W54cm



《妙法蓮華經卷第二(高麗14世紀末)模写》

2013年

紺紙(美濃紙)、24金

H20.3×W39.5cm

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【[info@galleryparc.com](mailto:info@galleryparc.com)】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 想 い 朴善化

마 음 박 선 화

出展作家 朴善化 Park Sunhwa

会 期 2018年2月6日[火] — 2月25日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで  
【会期中、火曜日・土曜日・日曜日は作家が在廊しています。】

料 金 無料

内 容 絵画(模写)

2000年より現在まで、韓国高麗時代から朝鮮時代に至る仏教絵画の模写にこだわり制作を続ける朴善化の個展。線をたどる中で、その絵を描いた人の事を考え、その仏画を描いた時代や場所や情景などを想うとともに、素材・道具・技法にまで探求を深める朴の「想い」を展示。

会 場 Gallery PARC[グランマールブル ギャラリー・パルク] 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F MAP

ア ク セ ス 地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急京都線「烏丸」駅22・24番出口より徒歩7分。地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「烏丸御池」駅より徒歩7分。  
室町通・六角通 北東角 室町通側入り口より2Fへ

問 い 合 わ せ Gallery PARC (正木・武本・村田) 〒604-8165 京都府 京都市 中京区 烏帽子屋町 502 2F~4F

TEL= 075-231-0706 FAX= 075-231-0703 MAIL= [info@galleryparc.com](mailto:info@galleryparc.com) HP= [www.galleryparc.com](http://www.galleryparc.com)



《大方廣佛華嚴經卷第五十九(高麗時代1341~1367)模写》  
2013年  
紺紙(美濃紙)、24金  
H20×W42.5cm

「想い」 朴善化展

「마음」 박선화展 開催にあたって

2000年から今日までの18年間、生まれ育った国の文化財である韓国高麗時代から朝鮮時代に至る仏教絵画の模写にこだわり制作を続けています。

韓国で暮らしていた時には、特に何の意識もしない「日常」であった故郷の風景、音楽、食べ物などは、言葉も通じず右も左も分からない未知の国で暮らすようになって、私の「想い」となりました。

来日してしばらくの間、それらの「想い」は「韓国の何と同じだろうか」「何が違うのだろうか」と、日本で出会う様々な物や事を理解するための比較対象としての存在でした。しかし、言葉や日々の生活にも慣れ、特に不自由なく暮らせるようになってくるとともに、その「想い」は自分自身のアイデンティティーであることを意識し始めました。

模写制作の対象としている韓国仏画についても、最初は単純に自分が韓国人だから描いて当然だと思い込んでいました。しかし、繰り返し仏画に描かれた一筋一筋の線を手を持った筆でたどっていきながら、その絵を描いた人の事を考えるとともに、その仏画を描いた場所や情景などを同郷の者として「想い」、共有しようとしている自分に気付くようになりました。つまり、私にとって韓国仏画を描いている時間は、自身を深く見つめるための「想い」の時間でもあります。

今回の展覧会では、私が自分探しとしての「想い」を込めてきた仏画を展示致しますので是非ご観覧下さい。



《大方廣佛華嚴經 世主妙嚴品 變相図(高麗時代1350年)模写》部分  
2017年  
紺紙(美濃紙)、24金  
H20×W20cm



## 朴善化

PARK SUNHWA

### | 略歴・研究業績 |

- 2000 京都市立芸術大学 研究留学生(日本画・模写) 入学
- 2002 京都市立芸術大学 研究留学生(日本画・模写) 修了
- 2003 京都市立芸術大学 美術研究科修士課程保存修復専攻 入学
- 2005 京都市立芸術大学 美術研究科修士課程保存修復専攻 修了
- 2005 京都市立芸術大学 美術研究科博士(後期)課程美術専攻(保存修復)領域 入学
- 2009 京都市立芸術大学 美術研究科博士(後期)課程美術専攻(保存修復)領域 修了 博士号 取得

### | 展覧会 |

- 2017 ART FAIR SAPPORO (CROSS HOTEL SAPPORO / 札幌)
  - 時・시간 朴善化 展(同時代ギャラリー・コラージュ / 京都)
- 2016 同時代・アンデパンダン展 - 同時代ギャラリー・開廊20周年記念 - (同時代ギャラリー / 京都)
  - 風・마람 (同時代ギャラリー / 京都)
- 2015 紡ぐ (同時代ギャラリー / 京都)
  - 神戸アートマルシェ・2016年(オリエンタルホテル / 神戸)
  - ART BUSAN・2016年(ART BUSAN / 韓国)
- 2014 個展(同時代ギャラリー・コラージュ / 京都)
- 2013 ARTSHOW釜山・2014年(ARTSHOW釜山 / 韓国)
  - 継・전승 (同時代ギャラリー / 京都)
- 2012 藍の会展(津田画廊 / 京都)
- 2011 記憶 朴善化 展(同時代ギャラリー / 京都)
- 2009 同時代ギャラリー企画展 [もの][こと][わざ]の真 / 또다른 眞 模写作品展(同時代ギャラリー / 京都)
  - 韓国ソウル佛教中央博物館 招待展 또다른 / 眞 模写作品展(韓国ソウル佛教中央博物館 / 韓国)
  - 韓国通度寺博物館 招待展 또다른 / 眞 模写作品展(韓国通度寺博物館 / 韓国)
- 2002 アルン展(京都市立美術館 / 京都)
  - 『六号観音部分図』(法隆寺金堂壁画) 模写

### | 受賞歴 |

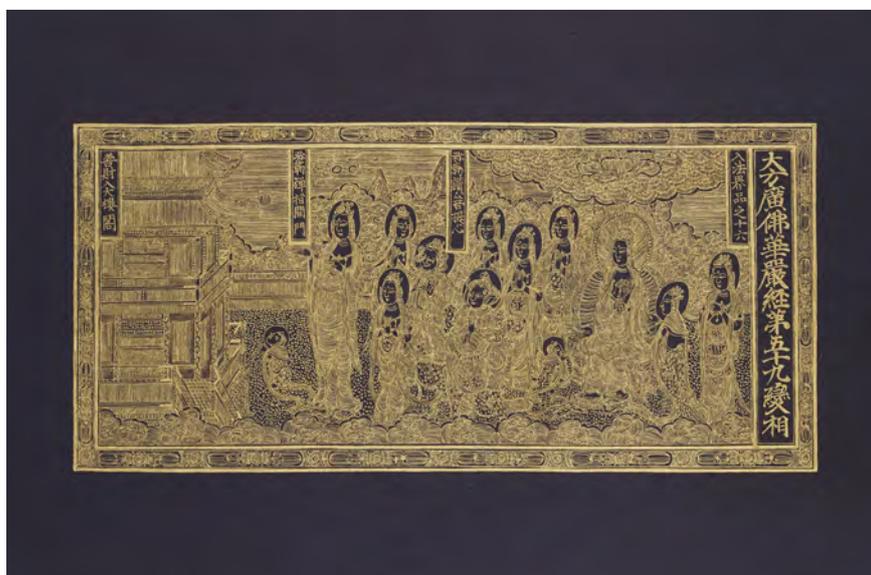
- 2005 京都市立芸術大学制作展(同窓会賞)
  - 『楊柳観音図』『水月観音図』(大和文華館所蔵) 模写
- 2004 京都市立芸術大学制作展(奨励賞)
  - 『五色鸚鵡図巻』(ボストン美術館所蔵) 模写

### | パブリックコレクション |

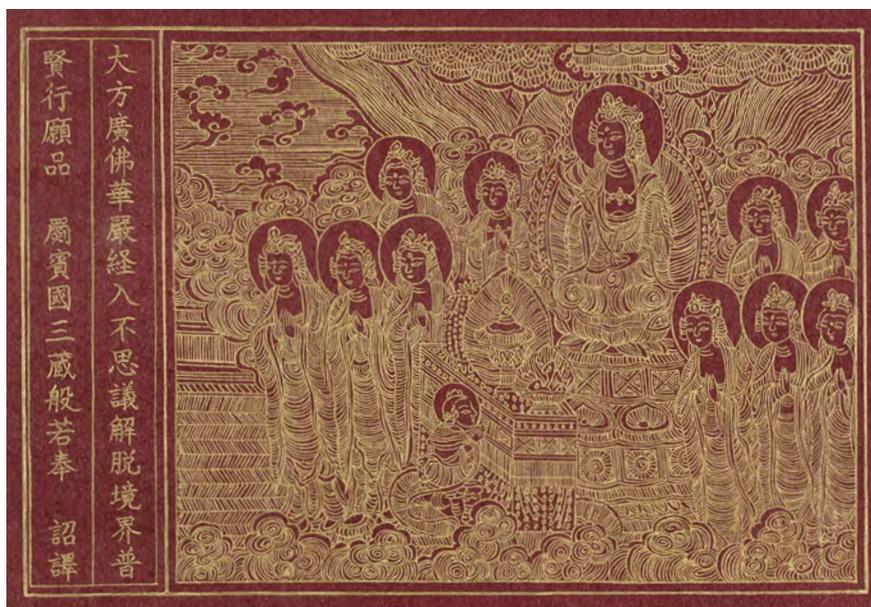
- 2017 順천시 松廣寺聖寶博物館
  - 『松廣寺 十六祖師眞影』模写
- 2013 向日市 向日神社
  - 『雲龍図』
- 2009 韓国ソウル 佛教中央博物館
  - 『紺紙銀泥不空羂索神變真言經 卷十三變相図』模写
- 2008 韓国 廣徳寺
  - 『白紙墨書妙法蓮華經 卷三變相図』模写
- 2005 株式会社・京都銀行
  - 『紺紙銀泥大方広華嚴經貞元本卷三十四變相図』模写



《妙法蓮華經第一 高麗時代(14世紀末)模写》  
2017年 褐紙(美濃紙)、24金 H34×W61cm



《大方廣佛華嚴經卷第五十九(高麗時代1341~1367)模写》  
2013年 紺紙(美濃紙)、24金 H20×W42.5cm



《大方廣佛華嚴經卷第五十九(高麗時代1341~1367)模写》  
2013年 紫紙(美濃紙)、24金 H13×W20cm